

平成29年度鳥取県西部地区中学校学びの共同体研究会実施レポート

期日 平成29年11月25日（土）

会場 大山町立大山中学校

◎ 研究テーマ 「学びの共同体」（協同的な学び）の理論と実践

◎ 指導助言者 学びの共同体研究会 スーパーバイザー 馬場 宏明 先生

1. 公開授業参観（8:45~11:20）

2. 授業参観後の指導助言（11:20~12:15）

3. 研究授業（13:45~14:35）

2年社会 「関東地方 拡大する東京大都市圏」（学習指導案は別紙）

◎授業参観の視点

①「グループ学習（学習班）」での学び合い

- ・一人ひとりの学びの様子。関わり合いの様子。
- ・互いの学びが深まる学習活動、言語活動等が見られたか。（生徒同士の関わり合い）
- ・生徒の学びを深めるための働きかけはどうであったか。（教師と生徒の関わり合い）

②「課題の提示」

- ・「共有課題」「ジャンプ課題（発展的課題）」等の段階的な課題設定の質、内容は適切であったか。（学びが深まる学習活動、言語活動等につながる内容であったか。）
- ・教師の課題提示の仕方はどうであったか。

◎授業参観の留意点

- ・参観者は、生徒に話しかけない、机間を歩き回らないで参観すること。
- ・指定された学習班がある参観者はその班の生徒の学びの様子を見取ること。

4. 研究協議及び指導助言（15:00~16:30）

(1) 大山中学校の今年度の研究の取り組みの説明

○研究主題「主体的に学び、対話し、考えを深め合える生徒の育成」

○取り組みの重点

- ・言語活動の充実を図る指導の工夫
- ・「学び合い」を大切にした授業づくり

(2) 授業者の自評

- ・最初の共有課題に予定以上の時間をかけてしまったため、後半のジャンプ課題にかける時間を十分に取ることができなくなってしまった。

- ・時間配分が適切にできなかったため、焦燥してしまい、生徒を意図的に答えに導こうとする言動をしてしまったことで、生徒の思考を停滞させてしまうことがあった。
- ・様々な資料を準備したことで、生徒たちはその表から読み取ることができることについて意欲的に取り組む姿勢が見られた。

(3) 授業参観者からの報告及び質問

- ・授業参観者を4つのグループに分けて、それぞれ授業参観の視点に沿って意見交換を行った。その中で参観して疑問に感じたことも含めてグループ毎にまとめて報告した。
- ・時間配分、課題提示の仕方、課題解決に向けて生徒にどのような事前確認をし、予備情報を与えるかということについての質問や意見交換した内容が報告された。

(4) 指導助言

今回の公開授業から見取ることができる普段の授業での様子について改善点がある。まず、学習班で活動する際の席次についての話があった。男女が向い合せになっているために、形態としては4人班になっているが学び合いは男女で行われ、ペアのようにになっている。そのため、学び合いの輪が広がらなくなっているため、男女が対角線になるような席にすると、生徒同士の対話が活性化する。

次に、学習班での活動における授業者の生徒への関わりについて指導を受けた。丁寧に机間指導していたが、授業者が班活動に関わる場面が多いため、班や生徒によっては授業者のヒントを待っているような様子が見られた。生徒自身に考えさせ、生徒同士で考えを共有しながら深化させていくためには、授業者はできる限り生徒に任せ、委ねることが大切である。課題が難解であった場合、生徒に個人思考させるとやる気を消失させることになるが、チームで考えさせると課題解決への意欲につながる。授業者は、学び合いが停滞している場合に、その解消に向けて生徒同士をつなげる、生徒同士を学び合いの場に戻すためのアプローチをするのみでよい。

以上の二点は教科に関係なく、全教員が日々の授業の中で意識して実践する必要性のあるものである。

また、課題提示の仕方についても工夫と配慮が必要である。課題提示する際に、生徒たちが何をやるかの作業を示すのではなく、それを何のためにするのかという理由を明確にすることが重要である。今回の公開授業では、「表から分かることを読み取る」という提示の仕方であった。しかし、これでは、読み取った時点で生徒は活動をやめてしまう。そのため、「なぜ都市圏が拡大したのかを考えよう」のような、表から読み取った情報を基に、何を考えさせたいのかが分かるように提示するべきである。そして、課題に個人や学習班で取り組んだ後の全体発表では、学級全体を巻き込んで共有するための切り返しの発問や予備発問が必要である。生徒が発表した後に授業者がすぐに評価すると生徒は迎合してしまうため、「これでいいのか」、「この意見、発表で何が分かったのか」を他の生徒に確認することで、さらに生徒に考えさせ、理解を深めさせたい。